

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが



と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市議会議員団控入室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp



豊能町光風台 (大和団地から100m) へのダイオキシン廃棄物

議員+住民パワーで「搬入」ストップさせる!

豊能郡環境施設組合は8月5日、大和団地に隣接した光風台4丁目の山林に高濃度ダイオキシン廃棄物の搬入(仮置き場)を強行しようとしたが、市議会議員と住民が抗議し、ストップさせました。

突然、テレビが報道

議会が「組合」へ

豊能郡環境施設組合が神戸市に無断で埋め立てたダイオキシンを

豊能郡環境施設組合が神戸市に無断で埋め立てたダイオキシンを

戸市に無断で埋め立てたダイオキシンを、委員会で、「組合」への申し送り、仮置きするとのニュー名で提出。市長からも申入れが流れたのは7月31日入札書が提出されました。の夕方。テレビを見た市民 申し入れは、光風台4丁から問い合わせの電話が入り、豊能町ではあるが、川

緊急の申し入れ

8月1日、日本共産党 議員団は川西市長と市議会

議長に、住民の命と健康、財産を守ることが責務の市として、事実確認と情報の提供を行い、住民の不安・不信・疑問に答え早急に説明会を開催するよう、緊急申し入れ書を提出しました。

「5日に搬入」の情報

申し入れには、なしのつぶて。その後何の情報もないままだったため、私(黒田)は、4日神戸市に電話。「5日朝9時30分から廃棄物の搬出を開始」との情報を得ました。市や川西市議会の抗議を無視して搬入する状況を見過すわけにはいきません。他議員にも連絡を取り、翌5日11時前から、西山議員・平岡議員・住田議員・黒田の4人が現場へ駆けつけました。大和自治会の会長さんや住民の方も10数名来られました。「搬入やめろ」と迫る現場では、搬入用に国道を片側1車線に規制、クレーン車などを配置。神戸市と兵庫県の職員やマスコミ関係者が見守る中、私達は、現場の組合職員に「住民への説明会を全く行わないまま搬入することは絶対に許せない。搬入をやめるべきだ」と訴えました。担当者は、「安全である」と決着になりました。



ご意見・ご要望 お気軽にお聞かせください。

黒豆の声

あの日
とっても良いお天気だった
一瞬にして
日常が地獄絵図になった

あれから71年
「被爆者の声に耳を傾け核兵器の非人道性に目をむけてほしい」
高校生の平和大使が
国連(ジュネーブ)で語りかけた

「核兵器禁止条約の交渉を
2017年に始める」世界101カ国
が支持を伝えた核軍備の縮小・撤
廃にむけた多国間交渉(国連)

「被爆者は核兵器廃絶を心から
求めます」
「後世の人びとが生き地獄を体
験しないように」
核兵器廃絶を願い核兵器を禁止
し廃絶する条約を結ぶことを
平均年齢80歳を超えた
被爆者の方が新たな国際署名を
呼びかける

「ふたたび被爆者をつくるな」と
はじまった日本原水爆被害者団
体協議会(1956年~)の訴えが
世界を動かしている

「平和の大切さをこども達に伝
えてきました」と元先生が。
「この署名に名前を書くことで
何かが変わりますか」と小学生。
「いつもは邪魔臭いと通り過ぎ
るけれどこれは書いていくわ」と
若者が。
新しい国際署名の輪が広がって
いく.....

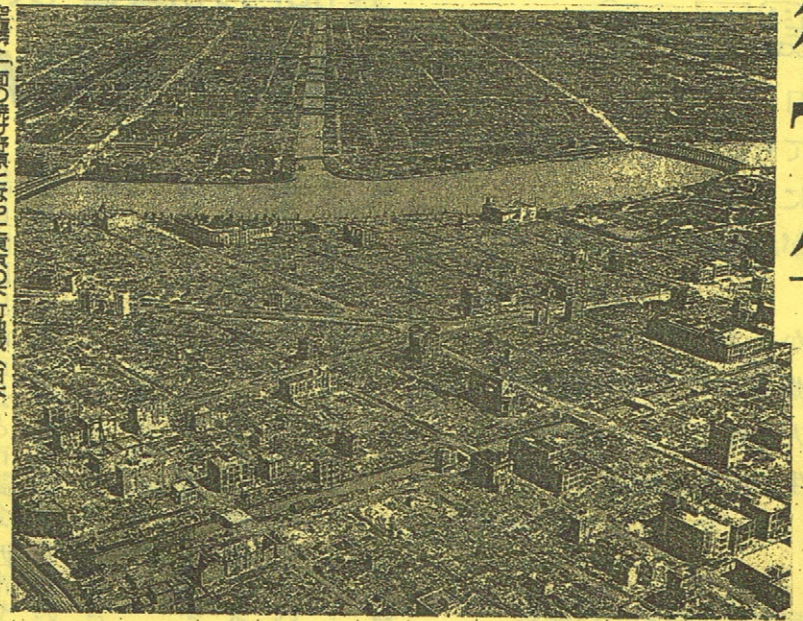
「私は被爆者の訴えに賛同して
署名します」

眩しい陽光の下
署名ができる
この日常を大切にしたい
誰のこどもも殺させない

戦後71年

敗戦の日8・15

アジア・太平洋戦争



空襲で一面の焼け野原となった東京の下町地区(日本近代史研究会「図報 日本近代の歴史」から)

日本の侵略戦争略年譜

- 1894年7月 日清戦争(～95年3月)
- 1904年2月 日露戦争(～05年9月)
- 1910年8月 韓国併合
- 1914年7月 第1次世界大戦(～18年11月)
- 1920年1月 国際連盟発足
- 1928年8月 パリ不戦条約
- 1931年9月 柳条湖事件、「満州事変」開始
- 1933年3月 日本が国際連盟を脱退
- 1937年7月 盧溝橋事件、日中戦争開始
- 12月 南京大虐殺
- 1939年9月 独がポーランド侵入、第2次大戦開始
- 1940年9月 日独伊三国同盟
- 1941年12月 日本軍がマレー半島上陸・真珠湾攻撃
- 1942年6月 ミッドウェー海戦
- 1945年3月 東京大空襲、沖縄戦(～6月)
- 5月 ドイツが降伏
- 7月 ポツダム宣言発表
- 8月 広島・長崎に原爆投下、ポツダム宣言受諾、敗戦
- 10月 国際連合発足



しいさあ @shisaa01

71周年の終戦記念日にあたって

日本共産党の小池晃書記局長は、15日の終戦記念日71周年を迎えるにあたり、次の談話を発表しました。

日本共産党書記局長小池 晃

一、戦後71回目の終戦戦争と植民地支配の戦記念日にあたり、日 犠牲となった、内外の人々に、深い哀悼の意を表します。そして、戦争の惨禍、おびただしい犠牲と悲惨な体験をへて、日本国民が手にした憲法9条を守り抜き、憲法を生かした平和日本を築くために全力をあげる決意をあらたにします。



一、安倍政権は、憲法の平和主義を根底から覆す暴走を続けています。集団的自衛権行使を容認する閣議決定を行い、安保法制「戦争法」を強行するなど、日本を再び「海外で戦争をする国」に変質させていくと表明しています。9条2項を削除し、「国防軍」創設を明記し、海外での武力行使を無条件、無制限に派の激しい戦闘が勃発

一、安倍政権は、憲法に背いています。先の参議院選挙では、「憲法隠し」に終始しながら、選挙がおわったとたん、自民党政権案をベースに3分の2を「政治の技術」で構築していくと表明しました。武器使用拡大が行われようとしています。今後も継承し、再び戦争をする国への道を絶

一、安倍法制「戦争法」は、他国と武力を交えず、一人の戦死者も出さずにきました。戦後71周年の終戦記念日にあたり、戦後築き上げてきた、この財産を、

一、日本の自衛隊は、他国と武力を交えず、一人の戦死者も出さずにきました。戦後71周年の終戦記念日にあたり、戦後築き上げてきた、この財産を、

日本は1894年の日清戦争で台湾を植民地とし、朝鮮半島の権益を手に入れました。さらに、「満州」(中国東北部)の権益をめぐって日露戦争をたたかいた。日本は南滿州鉄道(満鉄)の権益とロシア領の南樺太を奪い取り、1910年に韓国併合を強行し、朝鮮半島を植民地にしました。

日本軍国主義の次の標的は中国でした。日本軍の謀略事件(柳条湖事件)によって、「満州事変」(31年)がはじまりました。翌年、中国東北部に「満州国」を創設し、中国東北部を「満州」全域を自分のものにしてしまいました。

37年、日中両軍が衝突した盧溝橋事件で侵略戦争を中国全土に拡大しました。その過程で国民党政府の首都・南京市での南京大虐殺や「三光作戦」(焼く・殺す・略す)など、当時の戦時国際法に違反する戦争犯罪を起しました。

こうした侵略戦争は、国内で民主主義と人権、平和の言論と行動を徹底的に弾圧したうえですすめられました。特に22年に誕生し、侵略戦争反対、専制政治・軍国主義反対を主張した日本共産党には弾圧体制の中心となる治安維持法(25年公布)によって徹底して弾圧が加えられ、28年には最高刑が死刑とされました。

謀略・弾圧…日本の侵略戦争はどう進められたか

多くの共産党員が不当に逮捕され、小林多喜二や野呂栄太郎などが虐殺されました。「満州事変」以降、弾圧は一層強化され、自由主義的な学問・思想への弾圧、マスコミへの統制も徹底されました。

日本は40年9月に日独伊三国同盟を締結しました。この条約は、ナチス・ドイツやイタリアと日本との3国による「世界再分割」の条約でした。それを実行に移したのが、41年12月の日本軍のマレー半島上陸とハワイ真珠湾への奇襲攻撃で始まるアジア・太平洋戦争でした。

日本の戦争指導部は4年半ばに完全に戦争の見通しを失っていました。しかし、講和を有利にするために「もう一度勝つてからでない」という考えから戦争終結を断念しませんでした。その結果、東京をはじめとする主要都市への本土大空襲、沖縄での地上戦、広島、長崎への原爆投下、ソ連参戦による「満州」・サハリンでの悲劇など国民的犠牲を引き起こしました。45年の8月15日、ポツダム宣言を受諾し、戦争は終結します。「満州事変」以降の侵略戦争で、2000万人以上のアジア諸国民を犠牲にし、日本国民の死者も310万人以上となる惨害をもたらしました。